レッスン：PYR 69

テーマ：法則とシンボル

PYR 69 KE07L14/S3/05/

私の姉妹、兄弟たちよ、

スピリット、光、火の子供たちよ｡私たちは常に主、絶対、主の聖性のなかに抱かれています。

　生命の木のシンボルに関しては、それらのシンボルは創造界の中にある諸法則と現れを意味し、特に人間のイデアとつながっている諸法則があります。

　それらの法則の一つが生命の木の一番下にある四面ピラミッドです。それは現在のパーソナリティーまたは実存の諸世界を意味する大きな下向きの三角形の頂点にあります。この四面ピラミッドはこの惑星、人間の肉体、そして動物界及び植物界などを築くのに使われる4つのエレメントを意味します。それはすべてのサイクルのなかにあります。

　五芒星は元型としての人間のイデアフォームを意味しますが、同時に5つの感覚をも意味します、それが真の感覚または影の感覚であろうとも。

　もう一つの重要なシンボルは六芒星です。この星は実存の諸世界へのイエスキリストロゴスの下降を意味するだけでなく、イエスキリストロゴスはまた存在の諸世界のなかにも存在し、前に述べたようにフォームを与えるのは彼なのです；彼はフォーム（形態）および創造界の元型の骨組みを提供します。

　そしてフォームがあるためには、骨組が完全に活性化している必要があり、さもないとフォームはありません。そのようにして現在のパーソナリティーの無知があるのです。なぜなら、最初は3つの体は全て不定形であり…3つの体というとき肉体は含まれておらず、肉体の良い健康をあらわす体（＊エーテル体）のことです。真剣な探究者がとるべき努力とはそれらの体の形を整え、元型である人間のイデアフォームにマッチするようにすることです、そしてそれが起きた時、自己実現した現在のパーソナリティーとなります。

　六芒星はロゴスの下降を意味しますが、同時にそれは人間がLifeの本質を完全に現すステートに上昇することを意味し、そのステートとはキリスト意識であり、それはキリスト意識のシンボルです。

　六芒星の中には十字があり、それはキリスト意識に到達した人間を象徴しています、その意味は現在のパーソナリティーがバランスの諸世界を後にして、4つのエレメントをマスターし、さらに高いスタートに進む用意ができているということです。それは自己実現したパーソナリティーに使われるシンボルです。自己実現した現在のパーソナリティーは五芒星を使いません…自分を守る手段として、及び宇宙空間を旅する手段としても。その代わりに六芒星を使います。

　また七芒星があります。このシンボルは魂のセルフエピグノシスだけによって使用されます；それは実存の諸世界にいる間、私たちがタッチできない何かです。八芒星は大いなる母を意味し、それはアウタルキーの状態にある絶対存在の三角形から直接に来ます。ですから、このシンボルについてはあまり良くわかりません、それは存在の諸世界にいようと、実存の諸世界にいようとも誰にとってもアプローチ不可能です。

Page2

三角形はLifeを意味し、絶対LifeあるいはスパークとしてのLifeであれ、Lifeを意味します。

　もう一つのシンボルは14芒星です。14芒星は現在のパーソナリティーの最初の転生から自己実現に至るまで、自己実現に達するまでの転生の回数にかかわりなく、その現在のパーソナリティーに付き添います；自己実現の時、それは現在のパーソナリティーが14芒星の様々なステーションを完了し、自己実現においてすべてのステーションを完了したことを意味します。

　さて、現在のパーソナリティーのヒポスタシスとしての小宇宙的な生命の木に関しては、五芒星がヘソがある位置に、つまり太陽神軽叢のところに小さな五芒星があります。この小さな五芒星は真の感覚であれ影の感覚であれ、五感を意味します。しかし、勿論現在のパーソナリティーが3番目のサイクルをマスターし、大きなミステリーである火の洗礼が始まると、それはまた現在のパーソナリティーが超意識的意識のセルフエピグノシスを現し、4番目のサイクルに入ろうとしていることを意味します。ですから、これが太陽神経叢に根ざしている五芒星というシンボルです。

　また大きな五芒星もあり、それはその中に人間のヒポスタシスを含んでおり、この五芒星は元型としての人間のイデアフォームを意味し、それは何であれパーソナリティーが達成しなければならないことを意味します。つまり、それは不定形の体が完全に再形成されること意味し、同時に現在のパーソナリティーが自己実現の後に使用する高次ノエティカル体を意味します。

　さて、14芒星について、このシンボルは現在のパーソナリティーが最初の転生から最後の転生まで付きそう、と述べました；それは大きな14芒星であり、そのなかには現在のパーソナリティーのヒポスタシスが含まれますが、また現在のパーソナリティーのヒポスタシスを含む五芒星も含まれます。そして今、この現れの波動の中にいる現在のパーソナリティーの真のヒポスタシス（＊状態）は、諸体だけでなく、同時に五芒星と14芒星も含まれます。

　14芒星はまた太陽神軽叢にもあり、五芒星をも含んでいます。さて、この小さな14芒星は1回の転生のみのもので、1回の転生で全てのステーション（＊部署、場所）を完了する必要があります。新しく転生する度に新しい14芒星があります。皆さんの中には、“わかった、でもどれだけの時間をかけて現在のパーソナリティーはそれを完了しなければならないのか？なぜなら人によっては若くして死ぬ人もあり、また誕生してすぐに亡くなる人もいるので”と思う人もいるでしょう。パーソナリティーはそのような場合には全てのステーションを一度に通過するでしょう。

　ですから、これらが創造の大きな法則の中で見いだされる主なシンボルです。なぜなら、これは創造界の元型としての大きな法則であり、それは創造界のセル（＊室）であり、それは最大のなかにも最小の中にもあり、あらゆる所に見いだされ、それはLifeの中にあるものです。そして前に述べたように、Lifeは全ての人の中に、全てのものの中にあります。ですから創造界の最大の法則は､今この瞬間もあなたの内側にあり；あらゆる人の内側には創造のすべての法則があり、それだけでなくあなたの内側にはLifeの法則があるのです。

　あなたは諸宇宙をLifeの微細なスパークとして抱きしめることができ、諸宇宙はあなたの本質の微細な部分なのです。ですから、あなた方各人はあまりにも大きいので想像すらできないほどです。あなた方各人は大きくならずそのままでもLifeの他のすべてのスパークを抱きしめることができるのです…それらのスパークがあなたと比べて小さくなることなしに。同時に、他の全てはあなたを抱きしめ、お互いに抱きしめることができ、このことを心の中で想像するのは困難です。

　ですから、これらは人間として私たちがリアリティーにアプローチするために使用しています…現在のパーソナリティーとしてLifeにアプローチするために；しかし､Lifeはいかなるシンボルも必要としません、なぜなら、すべての法則はLifeの内側にあるからです。あなたの内側にあるLifeのスパークは何も必要としません；現在のパーソナリティーとしてのあなたがこれら全てを必要としているのです、あなたはこれらの法則にアプローチする必要があるのです…それによって助けられ、徐々にゆっくりと内側の真の本質を現すことができるように、そして最終的には勿論あなたの最内奥の本質を現すことができるように。

　なぜ私は内側の本質、そして最内奥の本質と言ったのでしょうか？なぜなら、現在のパーソナリティーはたとえLifeの本質を現していて、現在のパーソナリティーとしてキリスト意識に到達しても、まだLifeの本質が提供しているものを完全には使っていないからです。なぜなら、実存の諸世界においてはそれは“不可能”だからです…“同化”によってLifeの本質を完全に表現することは不可能です。なぜなら、人間はそれを理解することができず、それと交流することができないからです。つまり、実存の諸世界におけるコミュニケーションは同調であり、それは同化と比べると低レベルのコミュニケーション手段だからです。同化については多くを語ることができません。なぜなら、私たちはそれを経験していないからです。しかし同調も素晴らしい方法であり、あなた方は同時に一つのモナドセルフとしての現在のパーソナリティーだけでなく、必要なだけ多くのモナドセルフである現在のパーソナリティーと同調することができるのです。その数に関しては実際に制限はありません。

Page3

さて、惑星ロゴスに関しては、それは実際、自己実現したモナドセルフであり、＜自己実現したモナドセルフ＞と言う時、それは自己実現したスピリット・セルフからのスパークを意味します。そしてこの惑星又は他の惑星を管轄しています。多くのロゴスがあります…惑星ロゴス、太陽系のロゴス、銀河系のロゴス、超銀河のロゴスなどです。ロゴスは自己実現したLifeのスパークであり、同調だけでなく、同時にその惑星上の全ての人間と同化することができるのです。それは常に同化しているのですが、それは人間とだけでなく、生物であっても生物でなくても､同化することができるのです。そしてこの惑星ロゴスはこの惑星上の物理的現象を管轄しています…地震、洪水その他何であれ。

　なぜでしょうか？それは人類に適切な体験を提供するためです。なぜなら、彼は全ての人間と同調、同化しており、特に一人一人の人間における原因結果の法則と同化、同調しているので、人類に対して最適の体験を与えることができるのです。

ですから、惑星ロゴスとはまず現在のパーソナリティーが自己実現し、魂(Soul)に帰還した結果であり、ですから魂は自己実現したそれになり、後には魂はスピリット・セルフとなり、そのスピリットは自己実現したスピリットとなります；そしてそのスピリットが惑星ロゴスとして、あるいは太陽系のロゴスとして、銀河系のロゴス等として創造界においてそれ自身の微細な部分を現しているのです。

　さて、これらは最も重要なシンボルです、しかし繰り返し言いますが、全ての法則は全ての人の内側にあるLifeの微細なスパークのなかにあるのです。神は全ての人の内側にあります。大きな神、小さな神などというものはなく、唯一の神のみが多重性のステートのなかにあるのです。

　まず、アダムとイブというLifeの本質を完全に現している活性化されたパーソナリティーが創造の諸世界のなかで活性化され、そして同じ法則はこの現れが実存と無知の世界に入るのを助けました。一つであるアダムとイブは活性化された現在のパーソナリティーであり、Lifeの本質を完全に現わし、二元性の能力を持つことができます。そしてアダムはこの現れのなかでロゴス的ステートを意味し、イブは聖霊的現れを現しています。

　そして、彼等のなかに見いだされる蛇がいますが、それは英知を意味します。そしてその英知はやるべき仕事を達成するために、その現れのなかに留まりました。そして、いかにしてそれが達成されるのでしょうか？感覚を伴って物質のなかで、そして肉体のなかで自己を現すことによってです。

　その蛇は実際、イブに“イデア”を与え、それはその現れの聖霊的スタート、つまり“リンゴ”を意味します、それがアダムに与えられるためにです。リンゴは地球と4つのエレメントを意味します、なぜなら、あなた方が先に進むためには4つのエレメントが必要であり、それはこの惑星の肉です。勿論これら全ては象徴的なことですが。

　無知の衣をまとい、エゴの様々な側面を身につけている現在のパーソナリティーには制限がやってきました。さて、そのパーソナリティーが下降するのを助けた同じ法則が、現在のパーソナリティーがLifeそれ自体をより多く現し、無知の領域を出て、Lifeの本質を現すことができるようになるのを助けます。

　要約するなら、私たちは初めは現在のパーソナリティーではない活性化された現れであって、それはLifeの本質を完全に現していました、そして二元性の能力と共に無知のなかに入ったのです。そして限界ある現れのなかにいる現在のパーソナリティーは、徐々にLifeの本質を完全に現し始めるように進んでいきます。Lifeの本質を完全に現すということはモナドがやるべき仕事です。それが実現すると、現在のパーソナリティーはそのオリジナルのステートに戻るのです。どのオリジナルのステートでしょうか？物質の中に下降する前の、完全にLifeの本質を現していたステートです。

　そうです、それはアダムとイブのステートに戻るでしょう、体が完全に再形成されると、実際にその現在のパーソナリティーは完全に再形成されたサイコノエティカル体となります；肉体は忘れなさい。ですから、Lifeのスパークが活性化された現れがあり、それはLifeの本質を完全に現しています。しかし、今やそれはLifeのスパークから離れた現れとして留まるのではありません。

Page4

過去にレッスンで私たちは何を述べたでしょうか？自己実現した現在のパーソナリティーは。そのスパークと一つになるのでしょうか？同時にこの現れは高次ノエティカル体を活性化させます。その瞬間、この現れはその体に入り、自動的にサイコノエティカル体はその状態を失い、高次ノエティカル体が与える全ての能力と共にLifeの本質を完全に現します。そしてその体は5番目のサイクルを使います。しかし、述べたように、自己実現した現在のパーソナリティーはそのステートには留まらず、引き続き転生のサイクルの中に留まります。

　すると何が起きるのでしょうか？完全に再形成されたサイコノエティカル体は再びヒポスタシス（状態）を得ますが、しかし高次ノエティカル体が再び前と同じようにサイコノエティカル体のなかに入り、今や活性化された現在のパーソナリティーがいますが、そこには違いがあります；それは自己実現した現在のパーソナリティーであり、それは活性化された現在のパーソナリティーであり、高次ノエティカル体が一つに、現在のパーソナリティーはそのスパークと一つになるのです…そのスパークは現在のパーソナリティーの内側にありますが。

　高次ノエティカル体は、転生して現れている現在のパーソナリティーに何であれLifeの本質を与え、Lifeのスパークは何であれ高次ノエティカル体がその現在のパーソナリティーに与えるものと一つになっています。私は現在のパーソナリティーとは言わずに、＜パーソナリティー＞と言うことにしましょう。なぜなら、そのパーソナリティー、あるいは現在のパーソナリティーとして現れているそれは、それ以降は永遠のアトムだからです。つまり、そのサイコノエティカル体は永遠のアトムだということです。

　それゆえに、以前、自己実現した現在のパーソナリティーだけが、“自分はこれこれとして前にも存在した”と言うことができる、と述べたのです。なぜなら、過去の全ての転生においてそれを転生させているのは永遠のアトムだから*です。*　ですから名前のある人はすべて、自分は過去にも存在した、ということはできません。なぜなら、前に存在した私と今いる私、そこにはそれ以上のものがあるからです。

Q：私たちが肉体を去ると自分自身のパラダイスに入りますが、すると誰が次なる新しい転生を決意するのですか？

K：毎回転生し、各現在のパーソナリティーは永遠のアトムです。サイコノエティカル界に入った現在のパーソナリティーは自分のパラダイスにいます、そのパーソナリティーはそこで静かになり、何であれ否定的なものを忘れ、否定的な経験を忘れ、つまり痛み苦しみを忘れ、可能な限り幸せに暮らします。“出来る限り”と私が言った理由は、他の人が感じる幸せとその人が感じる幸せは違うからです。誰かが感じる幸せを他の人は痛み、苦しみと感じるかもしれないからです。

　ですから、そのパーソナリティーはそこに留まり、法則が新たな転生を決めると、そのパーソナリティーは永遠のパーソナリティーに戻り…つまりSoul、魂ということですが…、過去の現在のパーソナリティーから残っているものはその乗り物の内側にあります。その乗り物の中にLifeのスパークがあり、その特定の永遠のアトムのものである高次ノエティカル体があります。そして永遠のパーソナリティーの中に記録されるものすべても。そしてそこに“決断”があり、そしてまたある種のディバインの黙想においては、他の多くのLifeのスパーク、つまり他のパーソナリティー達の永遠のアトムとの関わりがあります。

　永遠のアトムは乗り物であると言いましたが；今は決断の時であり、Lifeのスパークが永遠のアトムのなかにあり、ディバインの決断を通じてそのアトムがどのような体験をする必要があるか、しかし同時に他人に与えるものもあり、そして勿論多くの現在のパーソナリティーたちがその決断に関係してきます。私が現在のパーソナリティーと言いましたが、それはそのパーソナリティーのなかの永遠のアトムです。なぜなら、そのアトムの中には全ての法則があるからです…各現在のパーソナリティーが関係しなければならない原因結果の法則、その他が。そして誰かが特定の両親に､特定の家族に、特定の社会に、特定の国、等に生まれるのは偶然そうなるのではありません。

　前の現在のパーソナリティーは忘れさられたのでしょうか？答えはノーです。それは汎宇宙的記憶のなかに記録されており、あなたはその過去の現在のパーソナリティーの活動を訪れることができ、それを経験することができ、つまりそのあなたのパーソナリティーが、そして他の誰かがどのように活動していたかを詳細に見ることができるのです。ですから、実際、現在のパーソナリティーとして誰も失われることはありません。東洋の信念がそのように呼んでいるいわゆるアカシックレコードのなかに入り（それは汎宇宙的潜在意識の記憶またはマインドですが）、一人の現在のパーソナリティーの全生涯を詳しく見ることができるのです、それらが起きた時のことをより詳細に、そしてそれら全てを一瞬のうちに見ることできます。あなたはまたあなた自身の多くの転生の生涯を一瞬のうちに、詳しく見ることができます。なぜなら、あなたはLifeのスピードで動いているからです…光の速度でもなく、思考の速度でもなく、Lifeの速度で動いているからです。肉体を離れた後、現在のパーソナリティーがサイコノエティカル界を訪れ、そこに留まる唯一の理由は、心を落ち着かせ、全てのネガティブなものを背後に残して、パラダイスのステートのなかで幸せな状態でそこに住み、そして次の転生にネガティブなものを持ってこないようにするためです。

　永遠のアトムが新たな現在のパーソナリティーとして転生する決断がされるやいなや、即座に懐妊が生じ、その特定の新しい現在のパーソナリティーのために聖なる霊体（スピリチュアル・ボディー）が築かれます。それら全ては即座に生じ、時間という意味を越えている出来事です。決断がくだされると、即座に懐妊が生じ、聖霊が働き始めます。しかし、新しい現在のパーソナリティーはまだその体の中に入るのではありません。

　堕胎が行われると、そのパーソナリティーは別の両親のもとに誕生します。

懐妊の時、現在のパーソナリティーとしての新しい現れは、その特定の身体が築かれることを決めますが、まだその体のなかには入っておらず、そのステートではそのパーソナリティーはまだ時間という意味のなかにはいません。

時には、カップルがなかなか妊娠できないことがあります、なぜなら彼等は自分達のアイディアに固執するからです。いずれにしても親になりたいと思う夫婦は、子供を産むという努力を忘れる必要があります。なぜなら、努力すればするほど、それだけ障害を生み出すことになるからです。なぜなら努力というのは一つの経験であり；それはあなたがレッスンを受けていることを意味します。もしあなたがそれについて忘れ、カップルとして普通の生活を送れば、つまりお互いが純粋なエロティズムを現せば、その時には赤ん坊が最終的にあなたに与えられるかもしれません。しかし、もしそれが執着になるなら、それについて忘れることです。

幼児のうちに死ぬ場合には、サイコノエティカル界に持ち越すことはありません。なぜなら誕生後、特に体験がないからです。その赤ん坊には別の転生がすぐに用意されるでしょう。

　子供達が大変なつらい体験をして死ぬと、不可視のヘルパー達が彼等の面倒を見て、子供の心が落ち着いて静まるようにし、彼等のために新しい体験（＊転生）を準備します。それが自己実現したパーソナリティーである場合、助ける目的のために過去の現在のパーソナリティーを目覚めさせることもできます。

Q：妊娠中の母親の態度は赤ん坊にサイコノエティカル的に、そして物理的に影響を与えますか？

K：肉体的にはその赤ん坊は影響を受けて、ノーマルな赤ん坊にはなれないかもしれませんが、しかしサイコノエティカル的には影響を受けません。なぜなら、その後に、その赤ん坊の中に入るからです。その現れを誕生させるのはBig Mother（大いなる母）です；赤ん坊の身体は確かに母親から出てきますが、しかし実際の現在のパーソナリティーはその母親の外に出て最初に呼吸する時に、赤ん坊の肉体に入るのです。困難な出産に基づくトラウマを､後のそのパーソナリティーの精神的問題や恐怖と結びつけるべきではありません。それらはその体験に根ざしているのです。

Q：永遠のアトムから表現されるそのパーソナリティーはスピリットに戻るのですか？

K：ノー、まず最初に惑星全体が自己実現するまで、あなたは同胞の人間達を助けます、そして次に一つの惑星として他の惑星を助けます。そして私たちの奉仕はもはや必要ないとLifeによって“決断”された時、その惑星はその目的を達成し、あるいはその太陽系、または銀河系はその目的を達成し、その時には惑星として私たちは存在の諸世界に入り、私たちはその魂のセルフエピグノシスに自己実現を与え、私たちは自己実現した魂となるのです。

　そして勿論、私たちは何が起きるのかわかりません。その魂は2番目の磔、３番目の磔を通過し、スピリット・セルフ・モナドに自己実現を与え、自己実現したスピリット・セルフとなり、そして勿論自己実現したスピリット・セルフはそれ自身の微細な部分を自己実現したスパークとして放出し、それは全ての人間の体験として知られます。なぜなら、それは人間のイデアを通じて全ての体験を通過し、今や惑星ロゴスまたは太陽系ロゴス、等となることができるのです。

　これは勿論、アークエンジェルのオーダーには起きません。一つのミカエルは他の全てのミカエルとまったく同じです。アークエンジェルのオーダーの違いは、全体としてのオーダーの違いだけです；ミカエルのオーダーはラファエルのオーダーとは異なります。そして唯一の違いは彼等が輝かせる色です。その色の輝きがそれぞれのオーダーが行うべき仕事を特定します。

Q：病人に病気の事を告げるのは良い考えではない、と言われますが、しかし現実にそれは困難です。

K：その理由は、そのパーソナリティーが病気にフォーカスするようになるからです。その人はエレメンタルを創造し、それについて考えれば考えるほど…特にその結果について…その影響が強まります。薬などの後遺症もその原因となりえます。勿論、法的な規則があるので、医師が病人の病名を言わないというのは不可能です。

Page6

Q：アガピと手当でセラピストが行った仕事は、霊的ヒーラーの仕事とかなり違いますか？

K：はい、なぜなら、霊的ヒーラーは何であれ原因結果の法則が許す範囲で、それに従って働き、原因結果の法則、及び他の全ての法則に完全に同調し、そして完全に相手の痛みを背負い、軽減します。そしてまた物質化と非物質化を行うことができます。勿論、法則がそれを許可するかしないかによりますが、霊的ヒーラーは常に完全な治癒のために働きます。多くの場合、彼は何かを物質化し、次の瞬間には自然に再び非物質化します。あるいはその反対もありますが。これは霊的ヒーラーが主、神の名前で仕事を行う時に継続的に起きることです。なぜなら、あなたがこのような仕事を行う時には、自分の名前でそれを行わないからです。そのような奉仕を行うのは、Lifeそれ自体だからです。しかし、Lifeがそのような仕事を現しているからといって、毎回病気が治るということではありません。なぜなら、そこには全ての法則が関与しており、最良なことはその人の病気が治ることだとは限らないからです。私たちはこのことを常に頭に入れておくべきです。しかし、私たちはその人の病気が治ることを目指して働くべきです。

EREVNA PYR 69